

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月7日

上場会社名 株式会社タカミヤ 上場取引所 東
 コード番号 2445 URL <https://www.takamiya.co/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 高宮 一雅
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部経理部長 (氏名) 辰見 知哉 TEL 06-6375-3918
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	22,097	6.6	1,913	76.0	1,773	58.2	1,217	74.2
2019年3月期第2四半期	20,734	16.0	1,087	35.1	1,121	33.3	698	14.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,171百万円 (106.6%) 2019年3月期第2四半期 567百万円 (26.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	28.10	27.29
2019年3月期第2四半期	16.31	15.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	57,332	17,687	30.1	370.58
2019年3月期	54,414	14,575	26.0	330.62

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 17,257百万円 2019年3月期 14,170百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	4.00	—	7.00	11.00
2020年3月期	—	6.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,590	8.1	3,930	44.8	3,630	36.3	2,440	49.0	54.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	46,577,000株	2019年3月期	45,467,600株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	7,020株	2019年3月期	2,606,971株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	43,335,268株	2019年3月期2Q	42,840,715株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2019年11月26日（火）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算補足説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米中通商問題、英国のEU離脱等の動向が懸念されており、不透明な状況が続いております。国内におきましても、景気は緩やかな回復基調で推移しているものの、自然災害が相次ぎ発生するなど、先行きに予断を許せない状況でありました。

当社グループに関連する建設業界は、国内では、東京オリンピック・パラリンピック開催直前の関連工事や首都圏を中心とした大規模再開発工事が佳境を迎えております。更に、インフラ再整備などの公共工事も本格化しており、環境は総じて良好に推移しております。一方で、建設労働者の不足と建設現場における安全基準の高まりは、依然として業界の課題となっております。

海外におきましても、当社グループが事業拠点を置くASEAN地域では、フィリピンでの公共インフラ・都市開発など、建設需要は旺盛で、環境は良好に推移しております。

このような環境の中で当社グループは、「トランスフォームにより新たな価値を創造し、業界の質的發展をけん引する企業グループを目指す」を中期経営ビジョンに掲げ、経営基盤の強化、収益基盤の革新、海外展開の加速、新たな成長事業の創出、この4項目を課題として取り組んでおります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高22,097,559千円(前年同期比6.6%増)、営業利益1,913,589千円(前年同期比76.0%増)、経常利益1,773,898千円(前年同期比58.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,217,672千円(前年同期比74.2%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①販売事業

旺盛な建設需要と建設現場における安全基準の高まりに伴う、従来の枠組足場から次世代足場への移行を背景に、「Iqシステム」及び周辺部材の販売が堅調に推移いたしました。

これらの結果、売上高7,556,574千円(前年同期比13.8%増)、営業利益1,104,321千円(前年同期比21.1%増)となりました。

②レンタル事業

民間建築工事向けの仮設機材においては、旺盛な需要を背景に、「Iqシステム」を中心とした仮設機材が高稼働で推移いたしました。土木・橋梁工事向けの仮設機材においても、北陸新幹線延伸工事等の大型現場への出荷がピークを迎えようとしております。これらにより、当第2四半期連結累計期間における民間建築、土木・橋梁工事を合わせた仮設機材全体の貸出数量は、創業以来の高い水準を継続しております。利益面では、レンタル用仮設機材への投資を抑制しつつ、効率的運用に取り組んだ結果、セグメント利益が大きく増加いたしました。

これらの結果、売上高12,692,250千円(前年同期比13.5%増)、営業利益1,628,221千円(前年同期比82.6%増)となりました。

③海外事業

太陽光関連事業について、受注環境は堅調に推移しているものの、前期のような大型案件はなく、売上金額は大きく減少いたしました。仮設機材レンタル事業については、旺盛な需要を背景に受注環境は堅調に推移いたしました。仮設販売事業については、ホリーベトナム(ベトナム)及びホリーコア(韓国)での、安定的かつ効率的な生産体制が整った事により、セグメント間の販売が増加いたしました。利益面におきましても、積極的に事業展開を進めるに伴って、仮設機材の減価償却費や、地代他、販売管理費が増加しておりますが、売上総利益率の改善により、セグメント利益が回復してまいりました。

これらの結果、売上高3,187,370千円(前年同期比20.7%減)、営業利益48,739千円(前年同期比1,565.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、57,332,803千円となり、前連結会計年度末と比べ2,918,544千円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金の増加1,797,766千円、受取手形及び売掛金の増加1,710,825千円、賃貸資産(純額)の減少1,168,763千円等によるものであります。

負債合計は、39,645,796千円となり、前連結会計年度末と比べ192,767千円減少いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加515,622千円、短期借入金の増加638,920千円、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)の減少994,883千円等によるものであります。

純資産合計は、17,687,006千円となり、前連結会計年度末と比べ3,111,311千円増加いたしました。主な要因は、資本金の増加317,983千円、資本剰余金の増加682,321千円、利益剰余金の増加917,647千円、自己株式の減少1,229,841千円等によるものであります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、930,216千円の収入(前年同四半期は1,172,168千円の収入)となりました。主な要因は、賃貸資産の取得による支出586,814千円、売上債権の増加額1,841,155千円、たな卸資産の増加額588,727千円等があったものの、税金等調整前四半期純利益1,897,177千円、減価償却費2,366,401千円等があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、599,269千円の支出(前年同四半期は570,018千円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出995,355千円、有形固定資産の売却による収入525,584千円等があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,480,907千円の収入(前年同四半期は172,488千円の支出)となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出3,035,753千円等があったものの、長期借入れによる収入2,130,000千円、株式の発行による収入619,389千円、自己株式の処分による収入1,594,216千円等があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗等を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、当初予想を上回る見通しであることから、2019年5月9日に公表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、2019年10月28日に公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,734,184	7,531,950
受取手形及び売掛金	11,401,400	13,112,225
商品及び製品	3,170,300	3,315,550
仕掛品	965,979	897,562
原材料及び貯蔵品	1,001,093	1,030,479
その他	782,944	1,068,538
貸倒引当金	△274,311	△283,412
流動資産合計	22,781,590	26,672,895
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産		
減価償却累計額	△22,974,395	△23,906,814
貸貸資産(純額)	16,426,564	15,257,801
建物及び構築物		
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,361,117	△3,415,531
建物及び構築物(純額)	3,175,131	3,691,016
機械装置及び運搬具		
減価償却累計額	△1,137,582	△1,213,080
機械装置及び運搬具(純額)	1,188,764	1,181,946
土地	5,763,542	5,363,175
リース資産		
減価償却累計額	△444,153	△388,877
リース資産(純額)	459,760	457,900
建設仮勘定	305,038	256,754
その他	1,062,032	1,072,232
減価償却累計額	△752,478	△772,254
その他(純額)	309,554	299,977
有形固定資産合計	27,628,356	26,508,572
無形固定資産		
借地権	327,821	327,821
のれん	212,741	185,933
リース資産	11,363	9,844
その他	267,913	331,697
無形固定資産合計	819,840	855,295
投資その他の資産		
投資有価証券	454,484	486,447
差入保証金	577,834	673,185
会員権	39,356	39,606
退職給付に係る資産	73,543	75,921
繰延税金資産	899,404	850,200
その他	1,183,917	1,212,305
貸倒引当金	△44,069	△41,625
投資その他の資産合計	3,184,471	3,296,040
固定資産合計	31,632,668	30,659,908
資産合計	54,414,258	57,332,803

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,711,262	6,226,885
短期借入金	4,621,120	5,260,040
1年内償還予定の社債	160,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	5,858,184	5,726,038
リース債務	247,716	281,184
未払法人税等	763,642	710,444
賞与引当金	223,416	257,633
役員賞与引当金	19,060	—
設備関係支払手形	234,485	229,940
その他	2,464,066	2,203,369
流動負債合計	20,302,955	21,095,535
固定負債		
社債	2,710,000	2,590,000
長期借入金	13,495,882	12,633,144
リース債務	967,697	1,157,155
退職給付に係る負債	900,280	897,826
資産除去債務	15,882	16,076
その他	1,445,865	1,256,057
固定負債合計	19,535,608	18,550,260
負債合計	39,838,563	39,645,796
純資産の部		
株主資本		
資本金	732,130	1,050,114
資本剰余金	1,226,217	1,908,539
利益剰余金	13,395,332	14,312,979
自己株式	△1,233,173	△3,331
株主資本合計	14,120,506	17,268,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,507	44,283
繰延ヘッジ損益	△30,715	△25,675
為替換算調整勘定	55,101	△6,882
退職給付に係る調整累計額	△22,747	△22,347
その他の包括利益累計額合計	50,145	△10,621
新株予約権	296,346	306,115
非支配株主持分	108,696	123,211
純資産合計	14,575,695	17,687,006
負債純資産合計	54,414,258	57,332,803

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	20,734,040	22,097,559
売上原価	15,067,017	15,247,365
売上総利益	5,667,022	6,850,193
販売費及び一般管理費	4,579,831	4,936,603
営業利益	1,087,191	1,913,589
営業外収益		
受取利息	4,757	5,757
受取配当金	18,638	6,671
受取賃貸料	25,133	33,175
賃貸資産受入益	5,093	7,374
スクラップ売却収入	48,471	41,130
デリバティブ評価益	776	—
為替差益	66,888	—
その他	44,823	62,587
営業外収益合計	214,581	156,696
営業外費用		
支払利息	121,309	135,408
支払手数料	34,421	31,994
社債発行費	4,674	—
デリバティブ評価損	—	1,472
為替差損	—	35,394
貸倒損失	—	63,206
その他	20,269	28,911
営業外費用合計	180,675	296,387
経常利益	1,121,097	1,773,898
特別利益		
固定資産売却益	—	125,404
特別利益合計	—	125,404
特別損失		
固定資産除却損	337	2,125
特別損失合計	337	2,125
税金等調整前四半期純利益	1,120,760	1,897,177
法人税、住民税及び事業税	373,601	620,648
法人税等調整額	46,797	44,360
法人税等合計	420,398	665,009
四半期純利益	700,361	1,232,168
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,500	14,496
親会社株主に帰属する四半期純利益	698,860	1,217,672

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	700,361	1,232,168
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,118	△4,206
繰延ヘッジ損益	10,877	5,040
為替換算調整勘定	△138,444	△61,983
退職給付に係る調整額	1,401	399
その他の包括利益合計	△133,283	△60,749
四半期包括利益	567,078	1,171,419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	565,560	1,156,905
非支配株主に係る四半期包括利益	1,518	14,514

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,120,760	1,897,177
減価償却費	2,361,734	2,366,401
のれん償却額	42,485	26,808
賃貸資産除却に伴う原価振替額	60,957	44,948
賃貸資産売却に伴う原価振替額	194,902	69,458
賃貸資産の取得による支出	△870,663	△586,814
賃貸資産受入益	△5,093	△7,374
貸倒引当金の増減額(△は減少)	41,637	16,845
賞与引当金の増減額(△は減少)	16,014	34,217
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,801	△3,957
デリバティブ評価損益(△は益)	—	1,472
株式報酬費用	28,076	26,347
受取利息及び受取配当金	△23,395	△12,428
支払利息	121,309	135,408
為替差損益(△は益)	△65,938	49,700
有形固定資産売却損益(△は益)	△281	△125,404
有形固定資産除却損	337	2,125
売上債権の増減額(△は増加)	△1,461,310	△1,841,155
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,014,512	△588,727
仕入債務の増減額(△は減少)	1,033,866	573,447
貸倒損失	—	63,206
その他	△35,924	△418,330
小計	1,548,763	1,723,371
利息及び配当金の受取額	32,500	5,009
利息の支払額	△120,867	△132,339
法人税等の支払額	△288,227	△665,825
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,172,168	930,216

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△190,000	△210,000
定期預金の払戻による収入	190,000	210,000
有形固定資産の取得による支出	△520,510	△995,355
有形固定資産の売却による収入	1,132	525,584
無形固定資産の取得による支出	△32,688	△89,412
投資有価証券の取得による支出	△1,736	△38,183
会員権の取得による支出	—	△250
貸付けによる支出	△20,000	△6,860
貸付金の回収による収入	3,784	5,209
投資活動によるキャッシュ・フロー	△570,018	△599,269
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△133,284	686,190
リース債務の返済による支出	△95,034	△133,073
長期借入れによる収入	3,252,160	2,130,000
長期借入金の返済による支出	△3,144,967	△3,035,753
社債の発行による収入	294,951	—
社債の償還による支出	△46,250	△80,000
株式の発行による収入	—	619,389
自己株式の取得による支出	△35	△36
自己株式の処分による収入	—	1,594,216
配当金の支払額	△300,027	△300,024
財務活動によるキャッシュ・フロー	△172,488	1,480,907
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,019	△14,088
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	419,642	1,797,766
現金及び現金同等物の期首残高	4,750,160	5,414,184
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,169,802	7,211,950

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年9月10日を払込期日とする公募による新株式発行及び自己株式の処分を行いました。この結果、当第2四半期累計期間において、資本金が306,580千円、資本剰余金が670,918円増加し、自己株式が1,229,878千円減少しております。

また、新株予約権の権利行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ11,403千円増加しております。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,050,114千円、資本剰余金が1,908,539千円、自己株式が3,331千円となっております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	販売事業	レンタル事業	海外事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	6,555,867	11,084,884	3,093,288	20,734,040	—	20,734,040
セグメント間の内部 売上高又は振替高	85,661	102,473	926,839	1,114,975	△1,114,975	—
計	6,641,529	11,187,358	4,020,128	21,849,015	△1,114,975	20,734,040
セグメント利益	911,646	891,567	2,927	1,806,141	△718,949	1,087,191

(注) 1. セグメント利益の調整額△718,949千円には、セグメント間取引消去123,259千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△842,209千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	販売事業	レンタル事業	海外事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	7,431,945	12,668,121	1,997,493	22,097,559	—	22,097,559
セグメント間の内部 売上高又は振替高	124,629	24,129	1,189,877	1,338,636	△1,338,636	—
計	7,556,574	12,692,250	3,187,370	23,436,196	△1,338,636	22,097,559
セグメント利益	1,104,321	1,628,221	48,739	2,781,282	△867,693	1,913,589

(注) 1. セグメント利益の調整額△867,693千円には、セグメント間取引消去156,061千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,023,754千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。